

2016 年度 事業計画書(抄)

2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで

1. 財団設立 30 周年記念事業

- ① 情報通信に関するシンポジウムの開催
- ② 海外研究助成の拡充
- ③ 財団 30 周年記念誌・VTR の制作

2. 顕彰事業

① 大川賞

情報・通信分野における研究、技術開発および事業において顕著な社会的貢献をされた方を表彰

- ・ 原則として国内 1 件、海外 1 件の合計 2 件
- ・ それぞれの受賞者に対し、賞状ならびに副賞として金メダル、賞金 1,000 万円を贈呈
- ・ 募集は候補者についての推薦を公募するものとし、大学、研究機関および学会等に推薦を
書面で依頼すると共に財団ホームページにも掲載し、インターネット上でも公示を行う。
また、審査委員が推薦する候補者についても、審査の対象に含める。

② 大川出版賞

情報・通信分野に関する優れた図書を表彰

- ・ 原則として 1~2 件程度
- ・ それぞれの著者に対し、賞状ならびに副賞として銀メダル、賞金 100 万円を贈呈
また、出版社にも賞状ならびに賞牌を贈呈
- ・ 募集は候補図書についての推薦を公募するものとし、大学、研究機関および学会、出版社等
に推薦を書面で依頼すると共に財団ホームページにも掲載し、インターネット上でも公示
を行う。
また、審査委員が推薦する候補図書についても、審査の対象に含める。

3. 研究助成事業

① 情報・通信に関する研究、調査等の助成

情報・通信分野に関する調査・研究に対する国際的な助成

- ・ 国内外の研究者に対し総計 30~40 件程度
(国内 20 件程度、米国 6 件程度、中国・韓国 7 件程度)

- ・ 1件につき100万円（米国は1万ドル）を贈呈

② 情報・通信に関する研究、会議開催等の助成

情報・通信に関する学会、各種研究会や研究グループ等に対する助成

- ・ 上記について1～2件程度

③ 研究助成成果の公開

- (1) 研究助成による研究の成果については、研究成果報告書（フルペーパー）の提出を求めると共に、研究者の同意を得て公開し、情報通信分野の研究者の便宜を図る。
- (2) また、研究成果の概要は、「民間助成研究成果概要データベース」に登録し、国立情報学研究所等により、インターネットを介して広く一般に公開する。
- (3) さらに、当財団において「研究助成成果概要集」として発行する他、ホームページ上からも積極的に情報の公開を行う。

4. 贈呈式の開催

- ① 大川賞・大川出版賞・研究助成贈呈式の開催
- ② 米国研究助成贈呈式の開催

5. その他の事業

- ① 財団事業に関する広報、出版物の刊行等

収 支 予 算 書 (概要)

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	50,000
経常収益計	50,000
(2) 経常費用	
① 事業費	145,000
② 管理費	35,000
経常費用計	180,000
当期経常増減額	△130,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
① 特定資産受贈益	300,000
当期経常外増減額	300,000
当期一般正味財産増減額	170,000
一般正味財産期首残高	310,000
一般正味財産期末残高	480,000
II 指定正味財産増減の部	
① 一般正味財産への振替額	300,000
当期指定正味財産増減額	△300,000
指定正味財産期首残高	4,800,000
指定正味財産期末残高	4,500,000
III 正味財産期末残高	4,980,000